

本成果由中央高校基本科研业务费专项资金资助
中央民族大学自主科研计划项目

道光八年歲在戊子正月松筠識

闲窗录梦译编

[清] 松 筠 (穆齐贤) / 记 ◎ 赵令志 关 康 / 译

中央民族大学出版社
China Minzu University Press

閒窓錄夢評編

下

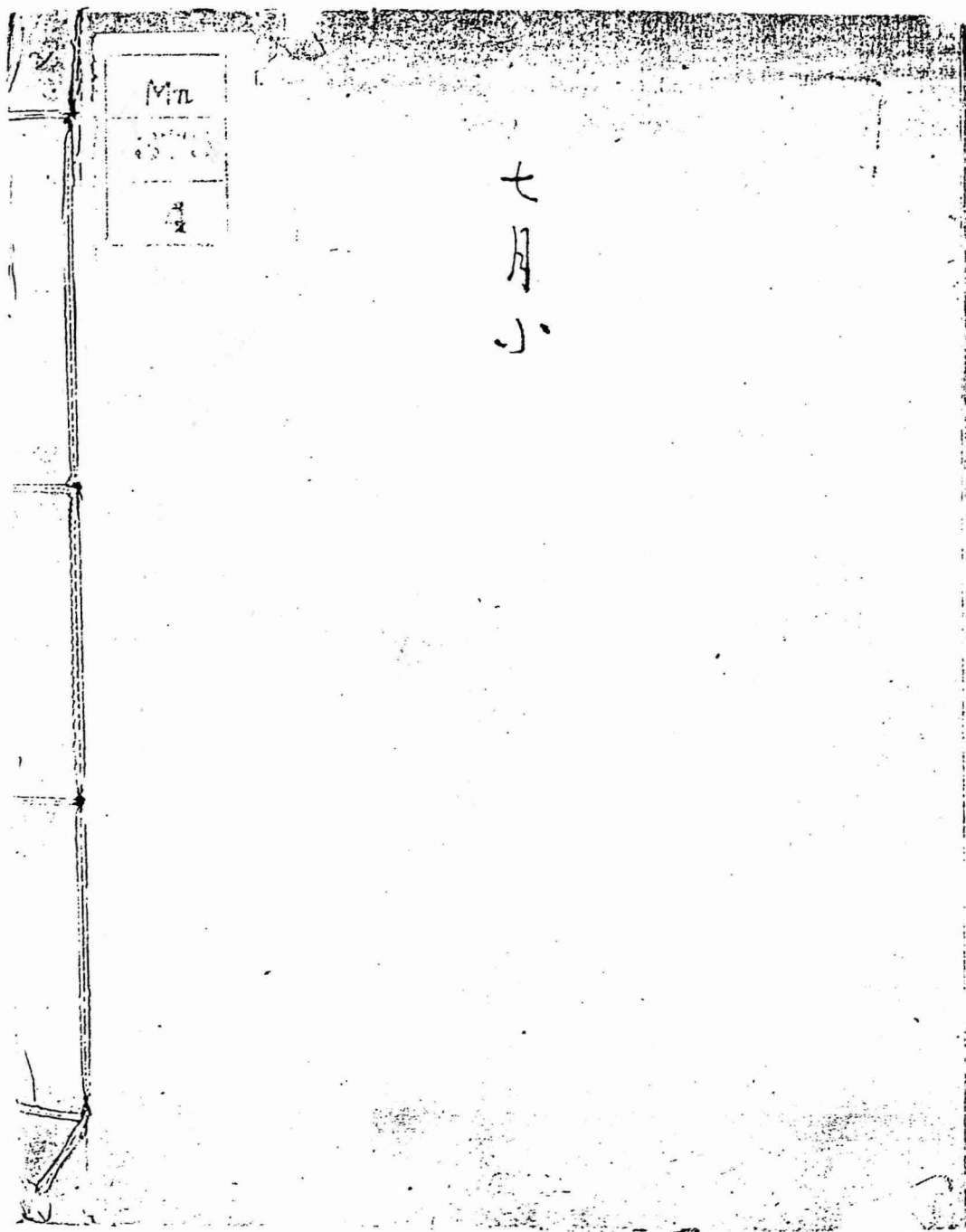
〔清〕松筠（穆齐贤）／记

赵令志 关康／译

中央民族大学出版社
China Minzu University Press

閒窓錄夢





翁方綱四集卷之四

五ノ目

早稲の穂をむき、尾を巻く

宋先博熙齋主人卷之五

少子之志也

○花のふりしるゝをふりしるゝ

[illegible]

[illegible]

卷之五

聖の御心は此の如く
 聖の御心は此の如く

家兄の長福國全の志智あるを以て是を志す

清江先生文集卷之五

わたりしをいふ

客在先生家不覺至夜半

九ノ多王多満九ノ多王多満

見其家毫
中乃見其
其也

吉原九郎

先王の御遺言を奉りて是の如く申すに

先王の御遺言を奉りて

先王の御遺言を奉りて

先王の御遺言を奉りて

先王の御遺言を奉りて

先王の御遺言を奉りて

おのれ多かりき。おのれを身より棄てて、
人となりて。

のこゝろを思ひあはせたるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。と云ふ
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。

と云ふ也。

先達との心を食ふるものなりと云ふ也。のこゝろを思ひあはせたるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。

亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。
 亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。亦先博照齋の心を食ふるものなりと云ふ也。

宛あらずに三陽館と生れ能く保ちて
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く

宛あらずに三陽館と生れ能く保ちて
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く

宛あらずに三陽館と生れ能く保ちて
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く
 其の旨をいふ人多く其の旨をいふ人多く

